

問14. 林業への取り組みについて

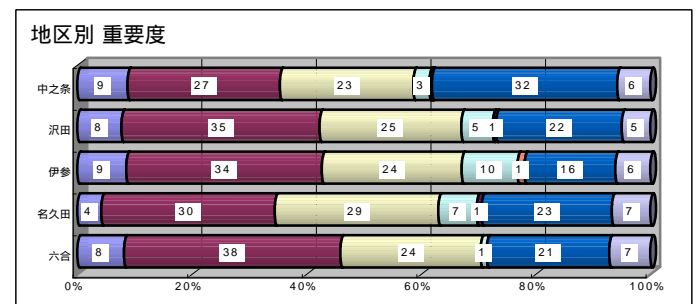
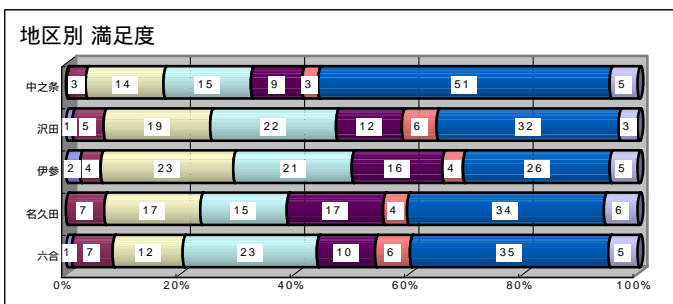
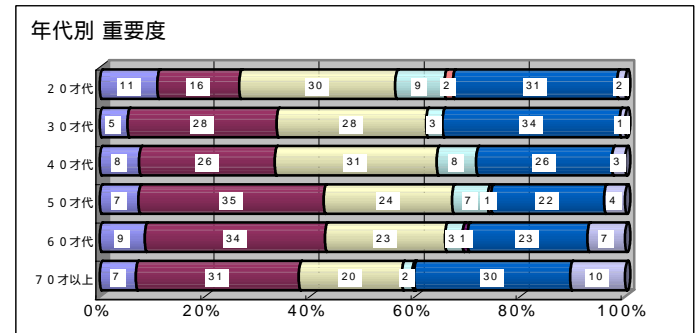
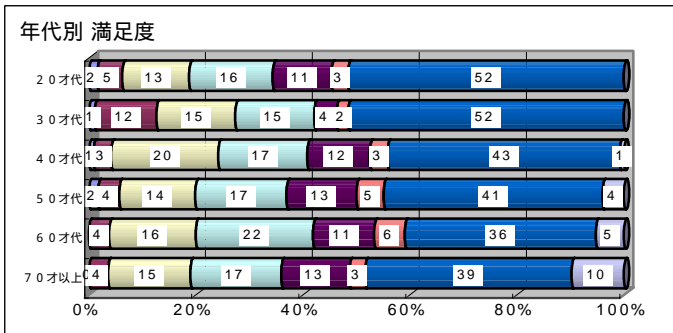
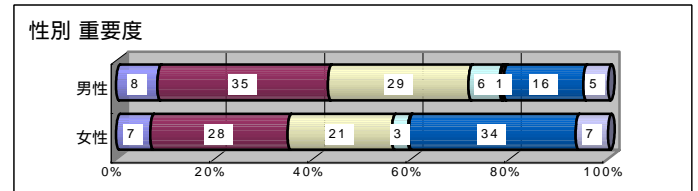
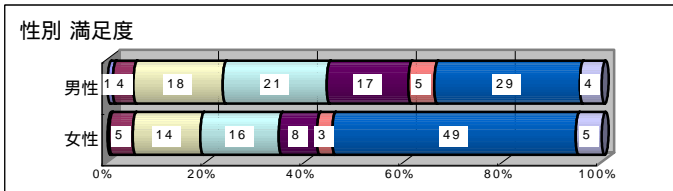
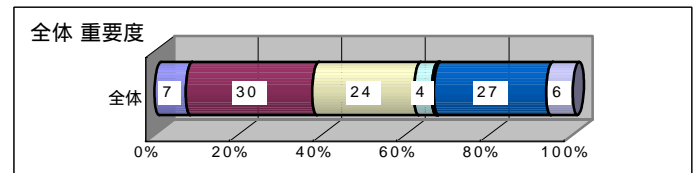
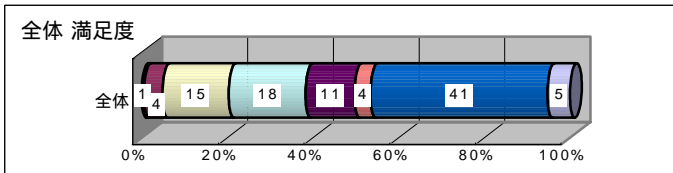
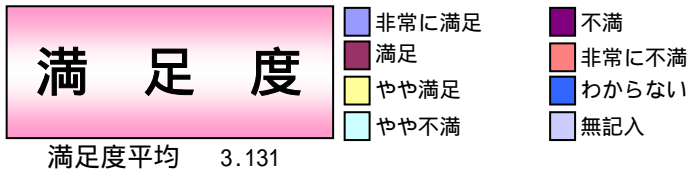
・間伐や枝打ちの推進 ・伐採や植樹等の指導
・林道の整備 などのことです。

全体的には61%の人が「やや重要」～「非常に重要」と思っている。そして29%の人が「非常に満足」～「やや満足」と感じている。「わからない」と答える割合が高い。

- ・性別では、女性の方が満足度が低く「わからない」と答える割合が高い。
- ・年代別では、60代までは年齢が高くなるに従い「重要」思う割合が高くなっている。
- ・地域別では、伊参地区の満足度が高くなっている。
- ・重点を置くべき項目では、「間伐や枝打ちの助成」35.8%「間伐材の利用」30.7%が高い。

前回調査（H20）との比較

満足度 平均3.343 3.131 順位28/32 30/32 重要度 平均4.494 4.596 順位23/32 20/32
沢田地区で重要度大きく上がった。（重要度50% 68%）



この施策を推進するのにあたり、重点を置くべきと思うことの割合。

(%)

推進項目	全体	性別			年代別							地区別					
		男	女	無記入	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才以上	無記入	中之条	沢田	伊参	名久田	六合	無記入
間伐や枝打ちの助成	35.8	39.6	34.1	29.4	21.9	28.4	34.2	48.3	40.0	31.4	36.4	31.4	44.5	43.9	35.3	38.8	29.7
木工製品の開発	11.7	15.5	9.3	10.6	10.9	18.9	12.5	11.9	11.4	10.1	6.8	13.4	11.5	8.5	14.3	11.2	5.0
間伐材の利用	30.7	34.6	29.6	21.2	26.6	21.1	33.3	34.1	35.7	29.7	20.5	30.0	33.0	41.5	34.5	27.6	19.8
治山事業	15.3	18.6	13.3	12.9	6.3	15.8	20.0	17.0	18.6	11.4	18.2	15.9	14.3	14.6	13.4	16.3	15.8
林道整備	15.4	16.5	15.7	8.2	21.9	15.8	15.8	19.9	16.7	11.4	6.8	13.4	17.0	13.4	17.6	25.5	9.9
植樹への助成	13.1	16.3	11.7	8.2	25.0	18.9	17.5	10.8	13.3	8.2	13.6	15.5	13.7	2.4	11.8	12.2	12.9

その他の重点を置くべき項目として記入いただいたものは、次ページ

その他の重点項目

杉・檜をナラやブナの木に植樹。

災害防止のための森林整備補助制度作り

木を切りすぎ。森林伐採

美しいまちづくりは美しい山作りから。美しい里山を。

山林手入れせずがはびこっている

木を切って市場へ出せば赤字になる、だから山へ手入れしないで山が荒れ放題。輸入材を規制しなければダメだ

いまやっている間伐は無意味

個人所有の杉や竹が無管理になって日照不足や畑に竹が生え作物が作れなくなっている。

町民によるボランティア（下草刈り）

県産材の使用推進

中国人などの雇用による経費削減

枝打ちなどの指導や整備

間伐や枝打ちの申請を役場でできるように

里山整備への助成

行政としての係わり方

国の施策で森林開発をやってきた。その責任を国が負うべき

間伐材(マキ)の販売をして欲しい

むやみな林道開発ムダ

山林があっても助成が少なければ手入れが出来ません